

5年留保案の評価

■ 5年留保案

- ◇ 各地のプルサーマルの地元同意復活の状況を見るため、六ヶ所再処理竣工・JMOX建設を5年間留保

■ 影響の想定

- ◇ 再処理は廃止となる可能性があるため、**発電所停止リスクが著しく高まる**；
 - 六ヶ所へのSF受入は、5年間不可（返送されることは無いが）
 - 発電所LLW受入、返還廃棄物受入も5年間不可
 - むつ中間貯蔵へのSF搬入、大間の燃料装荷も、5年間不可
- ◇ 国も積立金制度を凍結
 - 取戻しは確実に5年間停止、積立も続行不可か
- ◇ 二再が無いという可能性があるため；
 - 各地の中間貯蔵も、プルサーマルも、5年間は議論不可
- ◇ 5年後の政策不明により、現時点で原燃の事業の継続性に疑義を生じ、事業指定の経理的基礎、原子炉設置許可のSF再処理前提にも疑問
- ◇ 従って、プルサーマル進捗の様子見が、**プルサーマルの進捗を阻害**し、結局、JMOXも再処理も不可となつて**得策とならず**、直接処分選択と同じ
- ◇ 2018年に期限を迎える日米原子力協定の更改交渉も困難化し、再処理リサイクルの権利を喪失する恐れ